

令和5年第3回定例会・一般質問

○日 時 令和5年9月8日（金）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	宮本 行雄	<p>1. 学校教育について（教育課）</p> <p>第2次智頭町教育大綱、智頭町教育ビジョンの基本理念に、「智頭町では、子どもたちに人として生きるための基礎・基本を確立したうえで、学びに向かう力を醸成し、まわりの人々との関わりを大切にする豊かな社会性を築きながら、一人一人が持っているその能力や適性を伸ばす教育を推進していきます。」とあり、めざす子ども像の具体化方針が、8項目ある中で、以下の教育長の考えを、問う。</p> <p>(1) 学校を支える教育環境の充実について、新学習指導要領では、より積極的にICTを活用することが想定されているが、今後の、小中学校の具体的な取組について、問う。</p> <p>(2) 今年の夏の、異常とも言える暑さ対策、特に保育園、小学校、中学校の暑さ対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(3) 教職員の働き方改革について、問う。</p> <p>(4) 人権が尊重される学校教育の推進について、問う。</p>	9:00
2	田中 賢	<p>1. 住民の健康とトップアスリートについて（教育課）</p> <p>令和5年度当初予算説明資料において、住民の健康づくり、スポーツ活動の充実が求められ、体育大会や総合型地域スポーツクラブ活動を通じて、町民の健康維持や体力増進など、スポーツクラブ活動の充実をめざすことが示されている。同様に鳥取県もアスリートの育成等の人材育成が本格的に始まり、智頭町も「国民スポーツ大会」や他の多くの大会に向けトップアスリート育成支援事業をスタートしている。しかし、本町ではアスリート志望し努力する人はいるものの、トップアスリートの指導を受けている選手が少ない状態である。</p> <p>以下のことを問う。</p> <p>(1) 本町のような中山間地域の今後のスポーツ活動のあり方を問う。</p> <p>(2) トップアスリート育成事業について、今後の進め方を問う。</p> <p>(3) 智頭温水プールのトレーニング器具を、初動負荷トレーニングマシンに更新する考えはないか。</p>	9:30

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	安道 泰治	<p>1. 那岐山のドウダンツツジの植生について (山村再生課・教育課)</p> <p>(1) 那岐山に自生している町花でもあるドウダンツツジが減少している実態の対策についてどう考えているか。</p> <p>(2) 那岐山を守る会の中でも深刻な問題と考え、森林管理署にも枝を持ち帰り挿し木にして山へ帰すという事業を申し入れている。町としてどう考えているか。</p> <p>(3) 挿し木苗を小中学校などでも育て、那岐山への植樹をする考えはないか。</p> <p>2. 買物環境について (企画課・山村再生課)</p> <p>(1) 東宝企業の出店が中止となり、トスクも9月末で撤退するがその後の誘致についての進捗を問う。</p> <p>(2) 百菜館の存続も町としてどう考えていくのか町長の所見を問う。</p>	10:10
4	岡田 光弘	<p>1. 智頭らしい教育の推進について (教育課)</p> <p>本町の将来を展望するうえで、最も重要なポイントが教育の充実と考える。本町で生まれ育ち、本町で生活してよかったと実感できる満足感を得られるようにしていくために、学校においても、地域社会においても「学ぶ」ことの積み重ねが重要と認識する。教育長の所信を問う。</p> <p>(1) 智頭町教育ビジョンの基本理念、基本方針を具体的にどのように実現していくのか。</p> <p>(2) 学校教育の中で特に国の方針であるギガスクール構想をどのように智頭らしく展開するか。</p> <p>(3) 智頭町社会教育計画の基本理念、基本目標を具体的にどのように実現していくのか。</p> <p>(4) 成人の「学びなおし」など潜在的な「学び」の需要はあると思うが、本町としてどのような生涯学習の構想を描いているのか。</p>	10:50

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
5	大河原昭洋	<p>1. 重層的支援体制整備事業について（福祉課） 地域住民の抱える課題が複雑化・複合化する中、従前の支援体制では課題があることから、令和3年4月に社会福祉法が改正され重層的支援体制整備事業が創設された。</p> <p>(1) 本町では令和4年度から事業が行われているが、これまでの評価をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 見えてきた課題としてはどのようなものがあるのか。また、課題解決に向けた対策をどのように考えているのか。</p> <p>2. 生成A I の活用について（総務課・教育課） 急速に普及する生成A I（人工知能）であるが、業務の効率化が期待できる反面、様々なリスクも指摘されている。</p> <p>(1) 本町の業務利用に向けては現在どのように考えているのか。</p> <p>(2) 文部科学省は生成A I の学校でのガイドラインを公表しているが、本町の学校現場での活用をどのように考えているのか。</p>	11:30
6	波多恵理子	<p>1. 同和問題について（総務課・教育課） 同和問題はいまだに差別発言、差別的な内容の文書が送付されたりする事象が存在するほか、ネット上での差別の書き込みがされている事例も発生している。</p> <p>(1) 本町におけるインターネット上の差別事象の現状を問う。</p> <p>(2) 今後の対策として</p> <p>①「智頭町部落差別の解消の推進に関する条例」第4条町民の責務の中に、ネット上での差別を禁止する文言を入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>②人権教育及び啓発の強化を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>③包括的差別禁止法の制定を国に求めていくべきと考えるがどうか。</p>	13:10
7	谷口 翔馬	<p>1. 若者定住対策について （企画課・福祉課・教育課・総務課）</p> <p>(1) 本町では、安心して子どもを産み、育て、教育していく環境づくり等、切れ目のない支援をまちの重点施策とし、また、国も異次元の少子化対策を講じるとしているなかで、今後、若者定住対策の構想について町長の所見を問う。</p> <p>(2) ゆめが丘の他に定住対策の土地を確保してはどうか町長の所見を問う。</p>	13:40

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
8	西尾 寿樹	<p>1. 智頭町日本1/0村おこし運動について（企画課）</p> <p>(1) 智頭町独自の1/0村おこし運動は、平成9年より始まり全国から注目された。今では各地区の振興協議会に受け継がれているが、昔のように集落単位での活動が復活できないか。</p> <p>(2) 住民自治による村の存続をかけ、1人暮らしの方の見守りや、空き家の解消、集落の保全や村の宝を活かした「収益」を確保するため、集落として取り組み易いように、ゼロイチの規約を簡素化できないか。</p> <p>2. 教育振興対策について（教育課・企画課）</p> <p>(1) 就任されて半年が経過したが、本町の教育現場の現状をどのように認識されているのか。</p> <p>(2) 本町の児童・生徒の学力向上に向けて教育委員会での教職員との議論の中で、タブレット端末の更なる活用法を検討する考えはないか。</p> <p>(3) 本町では令和4年6月に智頭町実践塾を立ち上げているが、現状をどのように受け止めているか。</p>	14:20

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。